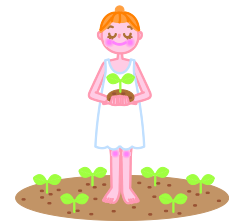


Only one

～ 子どもの「生きる力」を育む家庭教育 ～



今年度のテーマは「生きる」です

2018年12月

発行：能代市教育委員会生涯学習・スポーツ振興課

OnlyOne
Column

人生100年時代を生きる子どもたち～各論①～

能代市社会教育指導員 佐藤 清美

今年度は、「人生100年時代を生きる子どもたち」について3回にわたってお話をします。

前号の総論に続き、今回は、人生100年時代を生きることになる子どもたちに必要となる資質をどのようにして身につけるか…について書いてみます。

○自己分析力（長所・短所、得意・不得意、価値観等）

これまで以上に変化の激しい時代に長く生きていく子どもたちにとって、自分がどういう人間であるかを知ることはとても重要です。

この自己分析力を付けるには、子どもの頃からいろいろなことに挑戦し、成功と失敗をたくさん経験していくことが必要です。これまでは、失敗させないように心配りをするが多かったかもしれませんが、子どもに自己分析力を付けようとお考えなら、失敗の体験も重要です。このときのキーワードは「自分で決めて体験する」です。誰かに言われて体験することとは大きな違いがあります。自分で決めたことの結果については自分に責任があり、良くても悪くても受け止めざるをえません。しかし人に言われてやったことについての結果は、言った方に責任があると考えてしまいがちです。この受け止め方の違いが自己分析力を付ける上では大きな差を生みます。



体験した結果を、自分のものとして受け止め、そこから自分についての情報をたくさん得て、積み重ねていくことで、自己分析力は確かなものとなるのです。

保護者として、子どもの意見を尊重しながら、より多くの自己決断と体験を積んでいくことができるような環境づくりに心がけることは、100年時代を生きる子どもにとって何よりのプレゼントとなるでしょう。

○ネットワークの構築力（他世代交流）

同じ職域、職場で退職まで過ごせた時代と違って、一生に2度3度と転職をしながら過ごすことが予想される時代に生きていくには、たくさんの情報とネットワークが不可欠です。新しい職を探すときに最も大事なことは、自分が望む仕事とそれを求めている職場とのマッチングですが、このとき、ネットワークの大きさがものをいいます。幅広いネットワークを持っている人は、必要な情報をより多く得ることができるので、職場選択の幅が広がるということになります。

日頃からいろいろな人との交流を広げ、情報源を持つことがとても重要になります。人的交流を拓ける力の源は経験です。子どもの頃からいろいろな人との交流をたくさんすることを通してその力が増していくと考えられます。ネットワークの構築力と子どもの頃からの人的交流経験は比例します。どんどん交流経験をさせましょう。やがて必要なときに、この経験で培われた資質が力を発揮してくれるでしょう。

次号では「変化への意欲的な関わり力（自由な考え方と行動力）」についてと、このシリーズの結論について書くことにします。



おすすめの1冊

能代市立図書館所蔵の「子育て・家庭教育に関する本」のなかから、司書選りすぐりの1冊をご紹介します。



『家族で楽しむ25の年中行事』辰巳渚／文 江田ななえ／絵（岩崎書店）

日本で昔から行われている行事や海外から伝えられたものまで、たくさんの年中行事の中から25の行事を掲載しています。子どもの「どうして？」に、行事の意味や手順をわかりやすい言葉で説明するとき便利な一冊です。

さまざまな行事を子どもといっしょに体験することで、季節の移ろいを感じてみませんか？



データでみる家庭教育

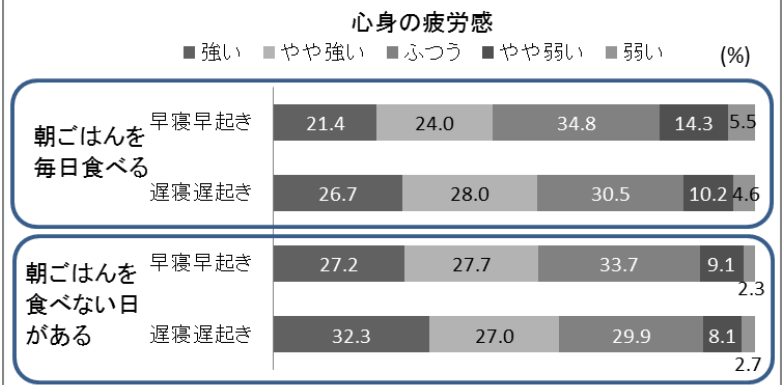
子育てや家庭教育に関するデータを取りあげます。「今」がわかり、子育てのヒントになるかも？

早寝早起きをして、朝ごはんを毎日食べている子どもは、心身の疲労感が少ない傾向にありました。心身の疲労感とは「ものごとに集中できない」などの、日常生活の中で感じる不安定な気分やそれに伴う疲労感をさします。

早寝早起きで朝ごはんを毎日食べる子どもと、遅寝遅起きで朝ごはんを食べない日がある子どもが心身の疲労感が「強い」と回答した割合の差は、およそ1.5倍であるということが分かります。

早寝早起き朝ごはんので疲れ知らずの健康な体をつくりましょう！

就寝・起床・朝食の習慣と心身の疲労感の関係



国立青少年教育振興機構「青少年の体験活動等に関する意識調査（平成28年度調査）」より

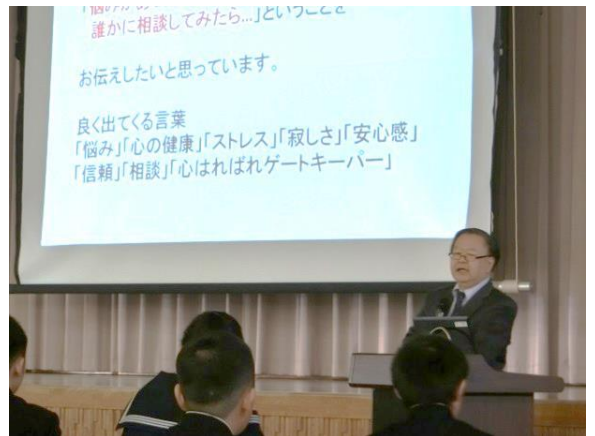


ひとつこと@家庭教育関係講座

能代市教育委員会では、家庭教育関係講座を実施していますが、その中から心にとるひとつことをご紹介します。

寂しさがあると、スマホにいつちゃうゲームにいつちゃう。だから大事なことは何かというと、スマホやゲームよりも楽しい時間を持つこと。みなさんの中で既にスマホやゲームをやるよりもこれをやっていたほうが楽しいという時間を知っている人？友達と楽しい時間を過ごすほうがいい？それね、おじいちゃんおばあちゃんも、何やっているとき楽しいか聞いたら、友達と話をしているときが楽しいって言っていた。だからね、人間にとって友達と話をするって年齢に関係なく楽しいのかもしれないね。

秋田大学大学院 准教授 佐々木久長氏「メディアと健康～メディアに支配されない生活を目指して～」より



新年に向かって

いつもより家族と過ごす時間が多くなる年末年始。普段なかなかできない体験や、家族とのふれあいを大切に、平成最後の年末年始を楽しんでください。

新しい年も良い1年となるよう願っております。



乳児は 肌を はなすな
幼児は 手を はなすな
少年は 目を はなすな
青年は 心を はなすな

☆ 通信に関するご意見やご感想、家庭教育に関するご相談等は、下記までお気軽にお寄せください。

能代市教育委員会 教育部生涯学習・スポーツ振興課 〒018-3192 能代市二ツ井町字上台1-1

TEL:0185-73-5285 / FAX:0185-73-6459 / E-mail:shou-supu@city.noshiro.lg.jp